

いまから ここから こころから

KARALIN

からのレター19

2025/6月発行



季節の製作
のりやハサミでおばけ作り(お化け)

どみそランド 2024 の様子

2025も元気にスタートしています。
おともだち募集中です。お問い合わせください。



お散歩準備万端
「お散歩、楽しみ～」(わくわく)

もくじ

どみそランド ······ ······ ······ ······ ······ p 2	居場所事業報告 ······ ······ ······ p 9
八尾ブレイディ 2024 報告 ······ p 3	八尾市におけるこども若者施策と、
子育てひろば「からりん」··· p 4.p 5	KARALIN の子ども参加事業 ······ p10
ワークショップ報告 ······ ······ p 6	2024 年度活動報告 ······ ······ p11
ネットワーク報告 ······ ······ p 7	2025 年度告知 ······ ······ p12
KARALIN 主催イベント ······ ······ p 8	

多様性を認め合い、非暴力を基にして人々がやさしく共生していく地域社会をめざし活動しています。

発行 / 〒 581-0002 八尾市東久宝寺 2-4-12

特定非営利活動法人 KARALIN TEL/FAX 072-924-3710

どみそランド

2024年度も無事に終わることができました。

たくさんご協力頂き、ありがとうございました。

2024年度



2024年度の子どもたちは、みんな10月以降の誕生日で、しばらくは『みんなで何かをする』という姿が想像もできないぐらい自由でした(*^_^*)

あちらで絵本を読み始める子、こちらで寂しくなって「ママ～ッ」と泣き出す子、目の前では踊り出す子、周りをよく見てから動く子、楽しそう！に引き寄せられていく子…とにかく毎回、元気で賑やかでした(^-^)

そんな子どもたちも「体操しよ～」「絵本読むよ」「お絵描きしよう～」と声をかけると、笑顔で駆け寄ってきたり、少しずつみんなで一緒に遊ぶ時間が増えていき、お友だち同士の関わりも増えていきました。

初めてのお散歩はおとの私たちもとっても嬉しくてワクワク☆

すごく成長を感じることができました♪

お正月明けには、みんなが本領発揮！



おしゃべりがすごく増え、お友だちと一緒に遊ぶ姿や『一緒に遊ぼっ！』『何して遊ぶ？』と相談する姿や協力しあってアスレチックを作り上げたり…と大成長した子どもたちでした☆

全力で喜んで楽しんで 全力で怒って、汗をかくぐらい泣いて…

喜怒哀楽を素直に出せる子どもたちと私たちおとなも全力で過ごさせてもらい、子どもたちから たくさん仕事を学ばせてもらいました♪

みんな、ありがとう～(*^_^*)

4月からの新しい環境で、戸惑うこともあると思いますが、いつでも応援しています☆

イヤなときはイヤって言って良いんだよ！

みんなと同じ気持ちや考えじゃなくても良いんだよ！

もちろん、同じ気持ちや考えでもいいんだよ！

これからも自分のペースで自分らしく過ごせますように。

(あきら・GAO)

★保護者の感想★

●初めはやっているかなと不安でした。最初の方は泣いたりしてたけど、いつの間にかお友達と楽しそうにしており、4月に比べずいぶん成長したなあと嬉しく思いました。

一年間あっという間でしたけどありがとうございました！(H.N)

●初めて子どもと離れて過ごす時間でしたが、先生たちの温かい雰囲気に、いつも安心して送り出すことができました。素敵なお友達とも出会い、彼らの成長を先生たち、ママたちと共に見守られたのは、親子共々幸せな経験でした！ありがとうございました。(もり)

●一年間、同じお友達と週に一回過ごさせてもらった事で、とてもマイペースな息子なりに小さな社会性も身につけてくれました。イベント毎に楽しませて頂けたり毎月の工作でも成長を感じられました。

先生方には、とても楽しく優しくダメな事はダメと教

えて頂き感謝でいっぱいです。おたよりでは見たことのない子供の顔が見れたのも嬉しかったです。

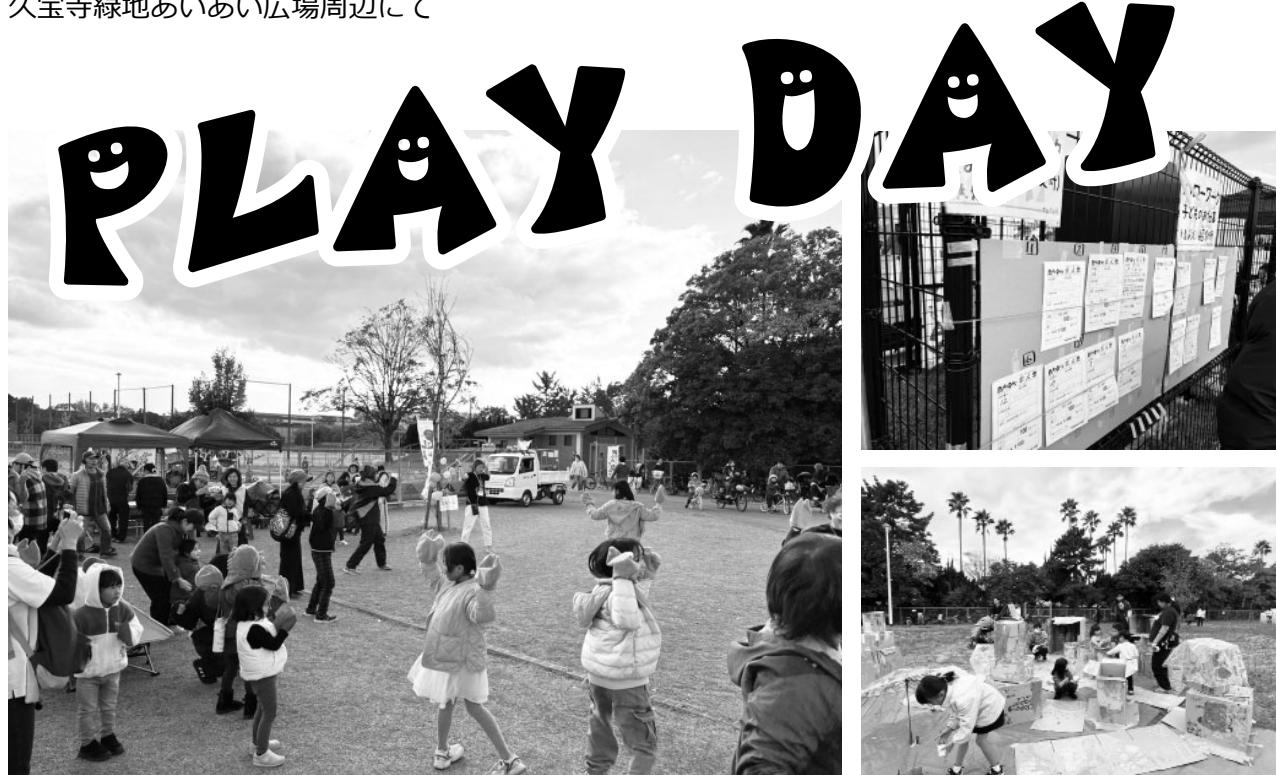
同じメンバーで、もっと通いたかったなと思う大切な場所でした。(J.M)

●最初はママと離れるのが嫌で泣いていたのに回数を重ねていくと笑顔でバイバイしてくれるようになりました。お友達の名前や歌を覚えて帰ってきて歌ってくれたり、トイレも先生やお友達の良い影響でスムーズに進んで感謝しかありません。本当に通わせて良かったと思う1年でした。ありがとうございました(Aより)

●場所見知り、人見知りの息子で初めはどうなるかと思いましたが、あきらさんとがおちゃんから沢山の愛情を注いでもらったおかげでとても成長した一年になりました。家では見られない外での息子的一面も知ることができ嬉しかったです。親子共々素敵な時間を過ごさせていただき、ありがとうございました。(うらしま)

やおプレイディ 2024 報告

11月23日（日）
久宝寺緑地あいあい広場周辺にて



11月20日は「世界子どもの日」。1954年、世界の子どもたちの相互理解と福祉の向上を目的として、国連によって制定され、世界の各地で記念イベントが催されています。

八尾でも何かやりたいね！ということで開催した『やおプレイディ』は、今回で3回目となりました。

コンセプトは「遊びは子どものごはんです」「おともじめにあそぶ日」。そして「子どものセーフガーディング」の視点をもつことでした。「子どものセーフガーディング」とは、子どもに関わる活動の中で、子どもの権利を尊重し子どもが安心・安全に過ごせるよう運営する取り組みです。子どもの“やってみたい！”を応援したい時、みなさんはどんなコミュニケーションをとっていますか？そんな時に意識してみましょう。言葉の選び方は適切か？手（口）を出し過ぎていないか？おとのの意向を押し付けていないか？子どもとの境界線をこえていないか？…など。意識することで子どもたちが安心して力が発揮でき、子ども自身が他者との関わる時のロールモデルになるのではないでしょうか。

→2025年6月1日に「子どもの権利を大切にした子どものセーフガーディング」学習会を実施します。

詳しくは裏面をご覧ください。

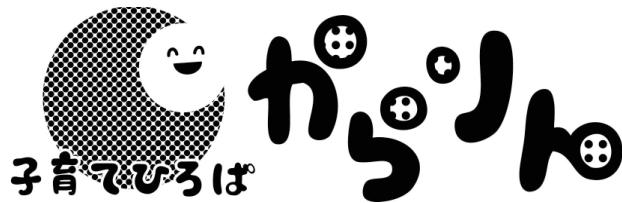
やおプレイディ 2024 当日は、晴天の中たくさんの方が遊びにきてくれました。

開催コンセプトに賛同していただいた協賛店、出店者のご協力により、会場は笑顔があふれていました。子どもハローワークには、何かしたい！と順番まちの列が出来るほど♪やりたいけどできない・今はまだ難しいという経験しながら、できることと一緒に探してくれるおとなが増えたらいいなと思いました。

やおプレイディは今年も開催します！進捗状況はHPにてお知らせしますので、お楽しみに！一緒に楽しみましょう！（ちーちゃん）



子どもふろしきマーケットワークショップの様子



2024年度の広場もたくさんの笑顔がありました。待ち望んだランチタイムの再開もあり、あたらしい1年となりました。工作や講座も、月替わりで行い、たくさんの方にご参加いただきました。

2024年度は福祉生活相談支援員の方にお越しいただき、「困りごとなんでも相談」もスタートしました。育児以外の生活のいろんな困りごとを相談できます。2025年度も引き続き来ていただけます



ので、ぜひお話ししてくださいね。(ヒロミ)

工作のひとコマ。
好きな色の粘土で手形
小さい手形がかわいい

2024年度実施講座アンケート抜粋

●アロマ講座 2025.2.18

・アロマの効能について知ることができ、自分だけのオリジナルのハンドクリームを作ることができ良かった。ありがとうございました。

・香りの感じたが人それぞれ全然違うことを知って楽しかったです。それぞれの効果をもっと知つてみたい気持ちが出てきました。自分のつかれを自分に合ったかおりで少しでもいやしたいです。本日はありがとうございました。

・香りの体験ははじめてだったので、おもしろかったです。“自分がどうしたいか”を考える貴重な時間をいただきました！ありがとうございました。

・知らなかった香りや効果も知れて良かったです。ステキなハンドクリームありがとうございました。



アロマ講座の様子

始まります！ 「からりんのえほんプラス」

毎月、広場に入ったあたらしい絵本やおもちゃの紹介をするコーナー、からりんのえほんプラスが始まります。絵本の読み聞かせやペープサートなど、たのしい時間になりますので、ぜひお越しくださいね。



避難訓練



食育工作

● CAP ワークショップ

・小さい頃は出来た事を素直に言えたのに、大きくなってくるとそれが自慢に聞こえたりと人の目を気にして段々と自分の気持ちを素直に言えなくなってくる。それは仕方がないのかなと思っていたのですが、お話を聞いて、自分の気持ちを言える権利はあるのだから、気持ちを安心して話す場所を用意してあげたら良いと聞いて、子どもが気持ちを出せる場を作つてあげられるよう心がけようと思いました。

・上手にNO！を言える練習をしようと思いました。・自分の“イヤ”に気づくこと、周りに発信すること。母にこそ大事やなと思いました。

・子どもの権利について改めて考えることができました。気持ちによりそうということを忘れがちになつた時には、自分の子どもの気持ちによりそいたいと思いました。親としても、感情コントロールを適切に行つて、親子ともに笑顔でいられるようにしたいです。ありがとうございました。

アドバイザーからのごあいさつ…

● 2024 年度は、数年ぶりのランチタイム再開の年でした。子育てひろばからりんとしては、初のランチタイム。アドバイザーでいろいろと話し合い、ドキドキしながらスタートを迎えました。お家での様子が垣間見えたり、いつもとは違う子どもたちが見られて、とても新鮮です。家では食べない子が食べてくれたり、逆に周りが気になって遊んじゃったりもして…参加されたことのない方も、ぜひお弁当お持ちくださいね。まだ離乳食の始まっていないおさんでも、保護者の方だけのランチタイムの参加、大歓迎です。みんなでたのしいランチタイムにしましょうね。(ヒロミ)

● 子育てひろばからりんの利用者さんは、様々です。年度末の利用者アンケートをみても、遊びたい・話したい・子どもの友だちをつくりたい・自分の友だちをつくりたいや、子育ての情報収集にという方も多いです。広場にきて、新しいおもちゃをいろいろ試してみることもできます。子どもたちは、絵本をたくさん出してきて読んだり読まなかつたり。はじめのうちは、保護者と遊んでいることが多いですが、広場に慣れてくると、顔見知りとなつた子と一緒に、ごっこ遊びをする姿もみられます。まだまだ子ども同士だけで、やりとりが成立することがむずかしいこともありますし、小さなぶつかり合いがおこることもありますが、けがの無いように見守りながら、子どもたちの成長ぶりを楽しませてもらっています。ちょっとお疲れ気味だと感じるお母さんが、みえることもあります。アドバイザーと一緒に子どもを見守りながら、体も心も、少しゆっくりして帰ってもらえるといいなと思いながら、過ごしています。子育て情報も、どんどん更新されますし、便利術も、私が幼児を育てていたころには無かったものがいろいろと出てきています。新しい子育て情報をしっかり収集して届けられるよう気を付けながら、新しい便利グッズやお店情報などを教えてもらい、利用者さんと一緒にあって楽しませてもらっています。(くう)

● 数年前は、からりんの利用者でした。広場でのモヤモヤや、子ども同士のやり取りで悩んだこと、アドバイザーの皆さんと楽しくお話したことなど、今でもたくさん思い出します。そんな私だから、利用者さんの立場になって考えれると思っています。みんなが過ごしやすい、あたたかい広場にしていきたいです。

前のページで紹介されていますが、今年度からの新コーナー『からりんのえほんプラス』の担当をしています。と言っても、準備や手遊びは、アドバイザーみんなで取り組みます。広場に来てくれる子ども達のことを思い浮かべながら、毎月絵本を選んでいます。人前で話すことは苦手ですが、絵本や手遊びに夢中になっている子ども達と一緒に、楽しみたいです。(ゆあっちゃん)

● 私がからりん広場の利用者だった頃、八尾市には公立幼稚園が存在し、なんと 2 年保育だったため、私は 4 歳児を広場に連れてきていました。それはもう走るは押すはケンカするは、めっちゃ大変。広場のおもちゃを何個壊したかは覚えていません。あの頃を思うと、なんてめちゃくちゃだったんだろうか。迷惑やったやろうなあ…とも思います。でも、私にはそれがよかったです。いろんな経験がありました。

時代は変わり、公立子ども園は 3 年保育になり、働く母も増え（と言うか大半）、広場に遊びに来てくれる子どもは低年齢化しました。スタッフになり、広場のあり方について、悩むこともあります。規則やルールを厳しく決めるのもいいでしょう。でも、間口が狭くなってしまうと、本来のからりん広場らしさが失われてしまうような気もします。多少の柔軟さを持ちながら運営したいものです。どんな人もいつでも来れる、安心できる広場でありたいなと日々思います。(あいぽん)

～ワークショップ報告 2024～

■いじめちょっとでもなくしたい RE: プログラム実践報告

姫路市からの依頼で、2013 年度から始まった「～いじめちょっとでもなくしたい～ RE: プログラム」。2024 年度は、姫路市内の 14 校の中学校で 36 クラス 1224 人の子どもたちとワークショップを行いました。これまでに、555 クラス、15000 人近くの子どもたちと出会うことができました。いじめをなくすことを綺麗事で終わらせないように、身近な自分のできることに引き寄せて考える時間になるよう努めています。

現在、小学生向けプログラムの開発に取り組み、メンバーと活動の場を広げようと準備を進めています。survival13（今年度より「実行委員会」を抜くことになりました。）の会議は、毎回新しい学びがあり、たくさん情報を得る貴重な場です。その中で、韓国の平和教

育市民団体「ピース MOMO」の体験型ワークショップの話を聞き、ぜひ RE: ねつのメンバーにも紹介したいと考え、大阪でのワークショップ開催に向けて準備を進めています。みなさんも、ぜひ仲間になって一緒に中学生にワークを届けましょう！（まめち）

【Information】

8月 12 日・13 日

大阪市生野区「いくのパーク」多目的室にて韓国から「ピース MOMO」の平和教育ワークショップを体験できる 2 日間イベントを開催します。
詳しくは KARALIN までお問い合わせください！

■みんな活き活きプログラム（データDV予防）

このプログラムでは、社会的・文化的につくられた「男らしさ・女らしさ」ではなく「自分らしく」生きていくためにロールプレイ（劇）を通して、子どもたちと一緒に考えていきます。

子どもたちは、それぞれの環境の中で「ジェンダー（文化的・社会的に構築された性差の概念）」が形成されていきます。家庭だけではなく、ネットやマンガ、ゲームからも無意識のうちに大きな影響をうけています。ワークショップを通して、子どもたち一人ひとりが自分ごととして考え、『自分のことは自分で決めていい』

と思える場所が増え
るといいな、と願い
ます。（ちーちゃん）



【子どもの感想より】

- ・イメージで決めてはいけないと思った。
- ・自分ががまんして、友だちだけにやさしくすることは「なかよし」とは言わないことが分かった。
- ・男の子はつよく、女の子はやさしくとか決めつけはよくない。

■HAPPYタイム

2か月に 1 度、テーマ別で自分を大切にするワークショップをしている。子どもたちとの関わりは幼少期からで年月が過ぎ、お互いがわかる関係性でゆったりとした感じですすめられている。信じて見守り、ともにゆっくり向き合うワークは、子どもは「これ、もっとやっていい？」「こんな感じやといいんかな？」「大きくなったらこんな夢があるねん！」と対話したり、がんばって考えたりやってみようとする時、より力を感じる。毎回、子どもがワークでどんなことを考え感じたのかを対話していると素直な気持ちに触れてほっこりした時間になる。子どもたちとどんな時間を共有でき、考えをめぐらせ変化していくのか、これからはワークも楽しみだ♪（ひろひろ）



気持ちのカードに
セリフをつける

モールを使って
協力して
作品をつくる



～ネットワーク事業報告 2024～

■世界人権宣言八尾市実行委員会（世人やお）総会記念学習会…6月3日(月)

KARALIN が所属している世人やおの総会記念学習会にて、「子どものけんり なんでやねん！ すごろく」とな体験！」を行いました。子ども権利について、子どもと遊びながら学び、日頃の子どもが思うなんでやねん！を出してもらうすごろくですが、今回はおとな体験と言う事で、おとなになんでやねん！ すごろくを子ども同様に体験していただきました。参加者の中には学校の先生も多く、すごろく内に出てくる子どもの学校についてのなんでやねん！（廊下走ったら怒られるのに、先生は走ってるのなんでやねん！）に苦笑

しつつも、先生目線のなんでやねん！を声に挙げてくれていたのが印象的でした。

おとなも常日頃なんでやねん！を抱えて生きてるのなんでやねん。（あいぽん）

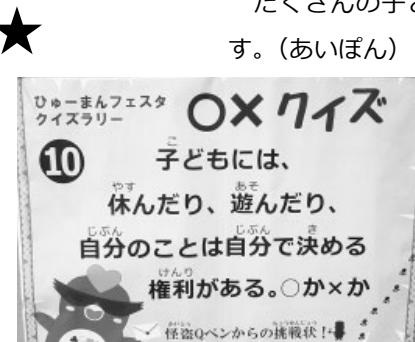


■ひゅーまんフェスタ 2024…11月15日(金)・16日(土) ★

KARALIN は、CAP プロジェクトやおのメンバーと一緒に、子どもの権利を基盤にして子どもの遊びブースを担当しています。今年は八尾市立小学校 3 校も参加してくれたので、たくさんの子どもたちに出会えました。学校や学年、クラスでカラーが全然違う子どもたちを見て、普段のおとの関わり方の大切さを実感しました。



なんでやねんの木、育ててます。



ひゅーまんフェスタ全体で行われるクイズラリー。今年の KARALIN 担当のクイズです。正解を考えてみてください。

子どもがいない隙間の時間では、おとの参加も多くありました。たくさんの先生方、教育委員会の教育長もお見えになって、子どもに CAP を伝える大切さ、子どもの権利についてを伝えられたかと思います。

2025 年は、11月14日(金)・15日(土)、プリズムホール（八尾市文化会館）で開催の予定です。

たくさんの子どもたちに会えるのを楽しみにしてます。（あいぽん）

■せじ～ん 76 (世界人権宣言記念フェスティバル) ♪ ♪ ♪ ♪

恒例の『CAPKARA ねっと』のハンドベル、なかなか忙しいメンバーで構成されており、全員集まれるのは本番のみ！という恐ろしい状態が続いております。今年の楽曲は「夢をかなえてドラえもん」今回はピアノ伴奏を取り入れ、お揃いの衣装を身にまとい、ステキな仕上がりとなりました。毎回ハプニングを楽しみつつの常連ですが、ここ数年、新規の出演者さんのレベルの高さに困惑しています。という私も、毎年 1 回ハンドベルを鳴らせるイベント「せじ～ん」。自分で鳴らしながらきれいな音色を楽しみつつ…いい時間を過

ごせてます。子どももおともも誰でもオッケー♪一緒にハンドベルを演奏しませんか？（あいぽん）



● ● ● ● ● ● ● 第 18 回定例総会 & 学習会 ● ● ● ● ● ● ● ●

2024 年 6 月 2 日、第 18 回定例総会では新理事を迎える、従来の事業に加えプレイディや RE: プログラム小学生版の作成など子どもの人権へのアプローチを進めるとともに、さらに女性の人権については女性新法について学ぶことから課題や実践に繋ぐ取り組みについて考えました。

はじめての女性福祉新法設立にあたってみんなで考えよう

2024 年 4 月 1 日に施行された「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」は、1956 年にできた売春防止法が改正された「福祉新法」です。以前の補導処分や保護更生を目的としていたものでは実態に合わなくなつて、福祉の視点から経済的困難に陥りやすい女性の人権の尊重や擁護を明確にしたものとなりました。66 年ぶりの改正ということにまず驚き、女性を取り巻く困難は複合的であるにもかかわらず支援体制は市によって異なり、女性支援員不足や関連機関の連携が現状に追いつかないとわかりました。

今回お話しいただいた講師は、新法施行以前から女性支援員として伴走型の支援を実践されており、困難な状況を整理して行政手続きから生活支援まで継続的な

関わりを大切に活動されています。コロナ禍を経て一気にネット社会は加速し、孤立化や格差の拡大が課題となっています。とりわけ社会的弱者と言われる女性の困難は子どもの貧困にも連鎖しています。負のサイクルを防ぎ、誰もが自分の幸せを追求できる社会に向けて、私たちができるることは何か。例えば広場で、困難を個人的なこととして抱え込んでいいのか、相談までのハードルが高くなつてないかなどを意識して話を聴き情報を提供する、そして専門家の支援に繋ぐ。また必要な人に支援が届くよう啓発や実践のために学んだり、八尾市においても、各課と連携して伴走できる女性相談の体制を要望したいと思いました。(えつ)

● ● ● ● ● ● ● 世人やお自主活動支援助成金活用 ● ● ● ● ● ● ●

映画上映会開催しました。○月○日、区長になる女。

この映画は、女性が区長選に立候補を決め、選挙を繰り広げる中で、地域社会や住民との関係、政治の在り方に向き合っていく姿を描いています。この映画の内容を通じて、市民自治とミニシユパリズム（小さな共同体による自己管理の思想）について考えることができます。

市民自治とは、地域社会の住民が自らの意思で、政治や行政に対して積極的に関わり、協働で問題解決を図ることです。主人公が選挙を通じて、住民一人ひとりの意見を反映させながら、地域の未来を切り開こうとする姿は、市民自治の重要性を示しています。特に、政治家が住民との密接な対話を重ね、民意を尊重しながら政策を進める過程において、民主主義の基本的価値観が浮かび上がります。

また、ミニシユパリズムは、都市や地域単位での自己決定を大事にします。小さな共同体が自らの運営に責任を持ち、外部からの干渉を避けながら独立した運営を行うことを目指します。市民活動でも、このよ

うな地域密着型の自治を実現し、私たち一人ひとりが自分たちの手で社会を形成していく力を信じて発揮する勇気を映画からもらいました。

市民自治とミニシユパリズムは、地域社会の健全な発展に不可欠な要素であり、その価値が再認識される街になることを願って止みません。(まめち)

参加者の感想…

●パワーをもらいました。1つの目標に向かって1人1人のおもい、行動、活動が大きな原動力となって実現できる事に感動しました。「ミニシユパリズム」のうたのように、何度も聴いていると自然に耳に残るようなテーマソングを自分たちも欲しいな～と思った。

●選挙ストーリーって、結果論になりがちだけど、本当は、そうじゃない!!って、岸本さん自身も思っていることが、特に素敵だった。(安心してみれた) 地域によって、市民館での政治に対する温度がちがうことは、市民運動の課題だけど、1つのモデルとして、めっちゃいい。

2024 年度★居場所事業



子ども・子育てに関わる大人の居場所

私が KARALIN のよって木を知ったのは、まだ利用者のころでした。子どもが園に行くようになって、やっと利用できるぞ！と喜んでしゃべりに行つたのが遠い記憶です。あの頃は、専業主婦（なんかほかの言い方ない？）も多く、やっとこさ子どもが居ない時間を確保できて、自分の時間を持てたことが自分を取り戻せたような、そ

んな気分でした。悩みは専ら子どものことばかりでしたが、広場で出会ったママ友（この言い方も気になる）と、子どもの通う園の話をしたり、あーだこーだとコーヒー飲みながらのんびり過ごしたい思い出です。

よって木を運営する側になって、時代の移り変わりやニーズについて、悩むことも多々ありますが、誰かにとつての安心できる居場所でありたいなあと思います。

今年度も月 1 回金曜開催です。作ってみたいおとなの工作も引き続き開催しています。広場では作れない、ちょっと手のかかるもの、あれば教えてくださいね。予算に限りはありますが、よって木ならできるかも。（あいぽん）



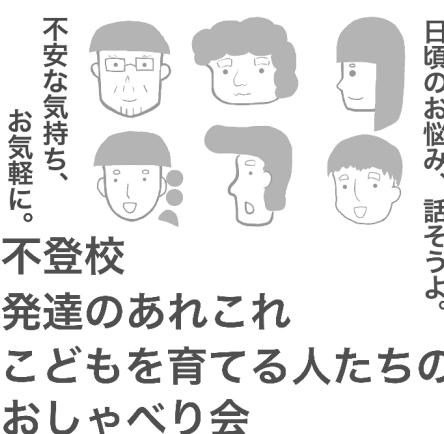
10 代の居場所 Cyapon ちゃぽん

この 1 年は、じわじわと居場所として知ってもらえるようになり、利用が毎回少しずつ増え、にぎやかになってきました。活動の中では自分でしたいことを選択肢から決めて過ごしています。かき氷・わたがしなどを作ったり、なんでやねんすごろくをしたり、プログラミングや革クラフトなどの講座を開催。友だちや今日がはじめてしゃべる人どうしてボードゲームやトランプ、カブラやチェスなど楽しそうでいい感じの雰囲気です♪おにぎりセットの軽食が定着てきて、みんなでおしゃべりしながら食べています。横で子どもの様子を見ているとニコニコしてのびのびと遊んでいるのであんしんに過

ごせているのかなと感じています。ほっこりできる時間になっているとよりいいなあと思います。いつも学生センターのチカラをお借りしています。今後は、関わるおとながセーフガーディングを意識して、1 人ひとりを大切に関わっていきたいです。小学生以上（低学年要送迎）になりますが、いつでもどなたでも歓迎です♪会えることを楽しみにお待ちしています。（ひろひろ）



*セーフガーディング：子どもにとってあんしんな場所になるようにおとなが子どもの権利を大切にして関わるための約束ごと



不登校
発達のあれこれ
こどもを育てる人たちの
おしゃべり会

絶賛子育て中の私が KARALIN の会議中では話せないあれこれ。この場でたくさんおしゃべりさせていただいてます。3 年目を迎えて自分の子どもへの悩みもどんどん変わってきました。昨年はついに子どもの高校受験を経験しました。不登校の子どもの進路については、この場でお話を聴かせていただいてたので、不安は少なかったです。無事に子どもが高校生になりましたが、どうなることやら。あの時しんどかったよね、と笑い話になるのはまだまだ先のようですが…自分の経験も誰かの参考になればいいなと思います。

しんどいな～！どないなってんねん！て、世の中に怒って、共有して、少し気持ちが軽くなったり。そんな居場所があってもいいよね。お気軽にあれこれおしゃべりしにきてください。今年度も毎月 1 回開催です。奇数月は「おとのの居場所よって木」内の開催。コーヒー飲みながら、ゆっくりおしゃべりしましょう。是非お越しください。（あいぽん）

八尾市におけるこども若者施策と、 KARALIN の子ども参加事業

松田直美

八尾市では、2024 年度末で「八尾市こどもいきいき未来計画（後期計画）」が終わり、代わりに「八尾市こども計画」が作られました。この新しい計画は、「こども基本法」という法律に基づいてつくれたものです。これまでの取り組みをふまえて、子どもや子育てをしている人たちの声を聴きながら、子どもを主役にした社会づくりを目指しています。

計画を作るときには、市民の意見を集める「パブリックコメント」という制度も使い、特に子どもの声を大事にしました。新しい八尾市こども計画のスローガンは、「こどもまんなか やおのまち」です。この言葉には、「こどもの声をしっかり聴いて、子どもの幸せを一番に考えるまちにしたい」という想いがこめられています。

この計画は、市民や専門家、そして子どもたち自身の意見を取り入れて作られ、子どもたちが安心して成長できる社会を目指しています。計画を作る委員の中には、他の団体から選ばれたメンバーとして、私たち KARALIN のメンバーも関わりました。KARALIN は、「子どもの権利」の視点を大切にして参加しました。特に、「子どもが意見を言える場をどう作るか」ということについて意見を伝えました。

対面で子どもの意見を聞くときには、「なんでやねん！ すごろく」という道具を使い、KARALIN のメンバーもスタッフとして参加しました。子どもたちと直接関わりながら声を聞けたことは、私たちの強みを活かせた場面だったと思います。

さらに、KARALIN が取り組む子ども参加の活動も、より深まってきました。たとえば、居場所事業「10 代の居場所ちゃんぽん」と協力して行った「やおプレイデイ 2024」は、子どもたちが自由に遊べる権利を大切にしたイベントになりました。子どもにとっては、マーケットの運営や、ハローワークで見つけた「お仕事」体験を通して、子どもたちが自己表現や協力を学び、得た通貨でまた遊べるという、自分たちの権利を実感できる場をつくりました。

子どもの権利を大切にする取り組みでは、子どもが自由に意見を言ったり、自分で選べることがとても大切です。おとなだけで決めるのではなく、子どもが参加することで、もっといい社会を一緒につくることができます。そのためには、おとなが持つ力を意識して、子どもが安心して意見を言える環境をつくることが大事で、「なんでも言っていいよ！」と声をかけるだけでは、なかなか本音は出てきません。子どもたちの興味や関心に寄りそって、自分の想いに気づき、表現できるような「きっかけ」や「仕掛け」を、おとなから届けることが必要だと思います。

2024 年は、KARALIN にとって「子どものセーフガーディング（子どもを守る仕組み）」を意識して動いた一年もありました。もともと大事にしてきた考え方ですが、しっかり名前をつけて意識することで、これからさらに深めて可視化していきます。



リノアスにて、子どもの意見聴取の為のイベントの様子



10 代の居場所ちゃんぽんにて

2024 年度 NPO 法人 KARALIN 活動報告

◆八尾市委託事業つどいの広場

●子育てひろば からりん

開催日数 140 回 利用組数 のべ 1149 組
保護者人数 のべ 1177 人 子ども人数 のべ 1468 人

◆保育事業

●どみそランド

全 40 回開催 子育てひろばからりんにて開催
水曜日クラス 5 人

◆居場所事業

●10代の居場所ちやほん

12 回開催 子ども参加人数 のべ 141 人
おとな参加人数 のべ 7 人

●おとなの居場所よって木

12 回開催 参加人数 のべ 57 人

●不登校・発達のあれこれ

子どもを育てる人たちのおしゃべり会
12 回開催 参加人数 のべ 53 人

◆ KARALIN 自主事業

●総会記念学習会

2024 年 6 月 2 日「はじめての女性福祉新法設立にあたってみんなで考えよう」

●KARALIN 映画上映会

2025 年 1 月 19 日「〇月〇日、区長になる女。」

●やお PLAYDAY2024

久宝寺緑地あいあい広場にて開催

◆ワークショップ提供事業

● HAPPY タイム

(児童養護施設へのプログラム提供事業)

低学年 6 回 高学年 6 回

子ども参加人数 のべ 70 人

●みんな活き活きプログラム (データDV予防教育)

世界人権宣言八尾市実行委員会助成金にて

八尾市立小学校 1 校 1 クラス実施 18 人参加

● RE : プログラム

～ちょっとでもいじめなくしたいプログラム～

姫路市立中学校 1 年生 14 校 36 クラス実施

子ども参加人数 1632 人

●その他のワークショップ

・あなたの大事なこころとからだのおはなし

・子どもと関わる上で知っておきたい 性・セクシヤリティのこと

・子どもや家庭の背景を踏まえた包括的な子どもの権利基盤のアプローチについて

・家庭でできるアドボカシーを考える

・子どもの意見形成支援ツール『なんでやねんすごく体験会』

・とんだばやし人権セミナー「子どもの権利について学ぼう」

・子どもの権利条約を軸に権利を学び伝え方を考える

・なんでやねんすごく体験

◆ KARALIN ネットワーク活動

●ひゅーまんフェスタ 2025 プリズムホールにて「こどものためのプレイパーク」開催

●せじ~ん 75 (世界人権宣言記念フェスティバル) プリズムホールにて、ハンドベル演奏

Special Thanks!

NPO 法人 KARALIN を支えてくださる方々

正会員…中谷弘子 / 伊藤栄子 / 松田直美 /
西川あり / 吉光裕美 / 伊藤愛理 / 新開ちあき /
田村名巳子

活動会員…今岡久美子 / 伊藤康子 / 梶山恵美 /
熊谷賀奈 / 国分寺晶 / 矢幡久美子 / 長尾葉子

賛助会員（個人）…荷川取香奈 / 阪本京子 /
朴洋幸 / 金洋子 / 大谷眞砂子 / 中谷碧空 /
赤穂眞由美 / 渡辺晏子 (順不同、敬称略)

賛助会員（団体）…CAP プロジェクトやお /
エンパワメント堺 / NPO 法人トッカビ /
NPO 法人 SEAN / NPO 法人ワークレッシュ

INFORMATION 2025年度もいろんな企画を計画中です！

学習会

「子どもの権利を大切にした 子どものセーフガーディング ～子どもにとって安心・安全な環境づくり～」

認定 NPO 法人全国こども食堂支援センター「むすびえ」が発行しているガイドブックの執筆を担当された認定 NPO 法人 ACE さんをお迎えし、日々の活動の中で、子どもが安心して安全に過ごせるための環境づくりを一緒に考えましょう。

日 時：2025年6月1日（日）13:00～16:00

場 所：八尾市青少年センター4階会議室

講 師：認定 NPO 法人 ACE 成田由香子さん

対 象：子どもに関わる活動をしている方（先着30名）

参加費：資料代 500円

こちらのフォームから
申込ください▶

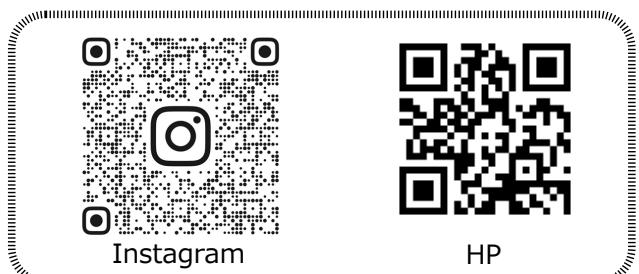


やおプレイデイ 2025 開催に向けて企画中！！

2025年11月23日（日）久宝寺緑地にて開催予定

毎年大盛況のイベントです！Instagram や HP でお知らせしていますので、チェックしてくださいね。

応援してくださる協賛店さまも募集しています。



子どもふろしきマーケット 店開きワークショップのご案内

やおプレイデイ当日に子ども店長として出店します。

子どもが事前準備から店当番まで、自分で考えます。

★第1回目 9月15日（月・祝日）9:45～11:45

★第2回目 10月5日（日）14:00～16:00

募集に関しては、上記の Instagram でお知らせしていきます♪



2026年はNPO法人KARALIN 20周年！

どんなイベントする？コンサートする？？など絶賛企画中です。

一緒に企画してくれる人、募集しま～す。